

# お兄ちゃんのままできて 思い出

●弓狩 信矢（ゆがり しんや）

三十四歳

ヒロインの腹違いの兄。いわゆる妾腹

『お兄ちゃんのままできて』で妹を自分の支配下に置き、監禁生活をはじめて半年後。幸せな誕生日を迎えた。

●ヒロイン 二十四歳

兄に監禁されて、日々犯されているかわいそうな妹。

どうにか逃げ出す方法はないか日々考えているが、いつも兄の方が一枚上手。

最悪の誕生日を迎えた。

●男

火遊び好きな男。他人のアオカンが見られてテンションアップ

●女

普通の女。アオカンを目撃してショックだし、彼氏にちよつとがっかり。

## トラック1 一ヶ月記念日

弟が死に、二人で暮らすようになって一か月が経過したヒロインと信矢。  
信矢に「一か月の記念日に何が欲しい？」と聞かれ、「信頼できる人と電話で話したい」と伝えると、信矢は父とも交流があった会社の重鎮に電話をかけることにする。

場所：信矢の執務室  
時刻：夜

【ヒロインと信矢が、ソファで向かい合わせに座っている】

【信矢、ヒロインの目の前で電話をしている】

【9】

信矢「あ、もしもし。今、大丈夫？

ごめんね、こんな時間に。

メッセージ読んだけど、電話の方が早いと思って。

えーと……どこから説明したらいいかな。

まず、急に長い休みもらっちゃってごめん。

で、そろそろ復帰できないかって話なんだけど……

どうかなあ……この声、聞こえてる？」

【ヒロイン、力の限り助けを叫ぶ】

信矢「そう、妹。あは、すごいだろ？

事情を知らない人が聞いたたら、監禁されて虐待されてる

被害者の悲鳴にしか聞こえない。

弟が死んでからずっとこの調子なんだ。

正直、とても一人にさせられない。

入院させろって人もいるけど、

父さんも弟も死んで、僕の肉親はもうこの子だけだし…

そばにいてあげたいし、寄り添ってあげたい」



【9】

信矢「だからもうしばらく、フルリモートでやらせてもらいたいんだ。

みんなには迷惑をかけるけど……

でもまあ正直言つて、僕なんていなくても仕事は回るでしょ？

父さんが生きてた頃から支えてくれてる、

有能な部下の皆様方いるんだから。

もう一生仕事行かないで、家で妹と過ごそうかなあ。

ねえ、どう思う、ヒヨ。お前もそうして欲しい？」

【ヒロイン、絶対嫌だと泣き出す】

【9】

信矢「あーあ、泣いちゃった。

【電話口で心配されて】え？ ああ、僕は大丈夫。

状況はあまりよくないけど、絶望はしてないよ。

妹はただ、傷ついてるだけなんだ。

だからいつかまた、昔みたいに過ごせるって信じてる。

そろそろ切るね。僕が誰かと電話してると、妹が興奮するから。

今度、妹に会いに来てよ。小さいころに会ったきりだろ？

え？ ああ、そう。そう、今もヒヨちゃんと呼んでる。

懐かしいだろ？ 可愛いヒヨコみたいだからって、みんなでさ。

それじゃあ、おやすみ」

SE：通話オフ

信矢「【たちあがりながら】さて……」

SE：椅子を引く

【信矢、立ち上がってヒロインの近くへ】

SE：近づいてくる足音

【7 耳元】

信矢「これで気はすんだかな？

言いたいこと、全部言えたものねえ」



1  
2 【信矢、ヒロインの背後を回って逆側に歩きながら】  
3

4 【7↓5】

5 信矢「なんだっけ？」

6 助けて、その人頭がおかしいの？

7 お願い、警察を呼んで？

8 このままじゃ殺されちゃう？」

9  
10 SE: 足音ストップ

11  
12 【5 背後から4】

13 信矢「殺す？ 僕が？ ヒヨちゃんを？」

14 お前が本当にそう思ってるなら、お兄ちゃん悲しいなあ」

15  
16 【5 背後から3耳元】

17 信矢「ねえヒヨ。〃このままじゃ殺される〃って、

18 どんな気持ちかわかる？

19 バスタブに頭突っ込まれて、もがいて、もがいて……

20 もう死ぬって瞬間に引き上げられて、

21 水を吐きながらせき込んで……

22 やっと息が整ってきたら、もう一度。

23 それを何度も、何度もやるんだよ。

24 気絶したらひっぱたいて目を覚まさせて、

25 〃バスタブの水全部飲んだら終わりにしてやるよ〃なんて、

26 笑いながら言われてね」

27  
28 SE: 足音

29  
30 【5→1】

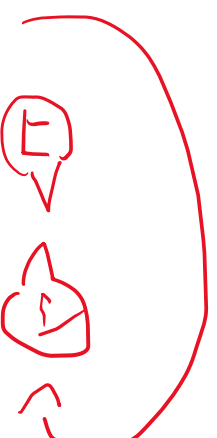
31 信矢「僕は小さいころ、これが一番怖かった。

32 ベルトで叩かれるより、たばこの火を押し付けられるより、

33 バスタブに沈められるのが一番怖くて、辛かったんだ」

34  
35 SE: 足音ストップ

36



【1】

信矢「だから教えてあげるよ。」

死の恐怖が、どういふものか。

それがわかれば、お前もきつと理解できるさ。

僕がどれだけお前を大切に思っているか。

お前を殺すはずなんかないってことをさ」

【信矢、ソファに足をかけてヒロインの首を両手でつかむ】

【1】

信矢「ヒヨちゃんの首、細いなあ。僕の両手にすっぽり収まる」

SE:ソファの軋み

【ヒロイン「お兄ちゃん、やめて」】

信矢「やめるって、何を？　ただ、首に手を回してるだけだよ。

力なんて全然入れてないのに、何をやめてほしいの？」

信矢「こうやって【力を入れる】首を絞めるのを、やめてほしいのかな」

SE:首絞め(ぎゅ…と革とか布を絞る感じの音)

SE:ソファの軋み

信矢「どう？　苦しい？　まだちょっと力を入れただけだから、

少し息苦しいくらいだよね。

このまま頸動脈を圧迫すると、

あっという間に酸欠になって失神するけど……

そんな締め方はしてあげない。

氣道を絞めるよ。

ほら、この顎の下。ぐっと力を入れられるとき」

SE:絞める音

SE:暴れる衣擦れ



1 【1】

2 信矢「あは。苦しい苦しい。

3 おえつてなるよね。わかるよ。

4 死ぬ？ 死にそう？ 息できないねえ、そうだねえ。

5 はい、休憩」

6 SE: 暴れる音ストップ

7 信矢「ちよつと絞めただけなのに、顔真っ赤になっちゃったね。

8 涙と鼻水、止まらないね。

9 じゃ、もう一度締めようか。

10 今度はさつきより、もう少し強く」

11 SE: 絞める音

12 SE: 暴れる衣擦れ

13 信矢「あーあ、必死必死。

14 頑張れ。頑張れ。

15 お兄ちゃんの腕に爪立てて、血が出るまで引っかけて、  
16 逃げ出さないと死んじゃうかもよ？」

17 SE: 暴れる音少しずつ緩やかに

18 信矢「おっと。

19 危ない。絞め落とすところだった」

20 SE: 暴れる音少しずつ緩やかに

21 信矢「ほーら、ゆっくり息して。

22 深呼吸、深呼吸。

23 あはは。喉、ひゅうひゅういってるね。かわいい音。

24 首を強く締められると、気道が浮腫んで狭くなるんだ。

25 息もしにくくなるし、声もまともに出せなくなる」

26 信矢「でも大丈夫。それくらいじゃ死なないよ。

27 それじゃ、もう一回絞めようか。おっと！」

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36

【ヒロイン、信矢を突き飛ばして逃げ出す】

SE：突き飛ばす

SE：ソファの軋み

SE：激しい足音

【13】

信矢「楽しそうに」あーあ、逃げちゃった」

SE：ドアを開ける

SE：廊下を走る

SE：手近なドア開閉

【13 遠くから】

信矢「ひーよ。どうして逃げるのかな。

お兄ちゃんが怖くなっちゃったのかなあ？」

SE：近づいてくる足音

【13↓5】

信矢「わかるよ。苦しいのは嫌だよね。

どうせすぐにつかまるってわかってるのに、

パニックになって、体が勝手に逃げ出すんだ。

助けて、助けてって祈りながら」

SE：ノック音

【5】

信矢「ごめんね。ちょっと怖がらせ過ぎちゃったね。

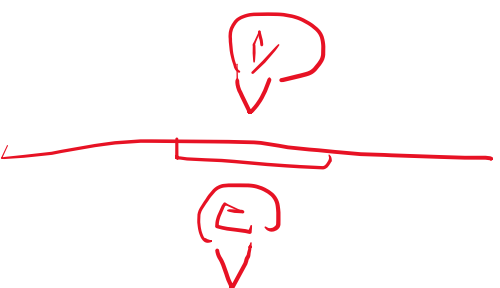
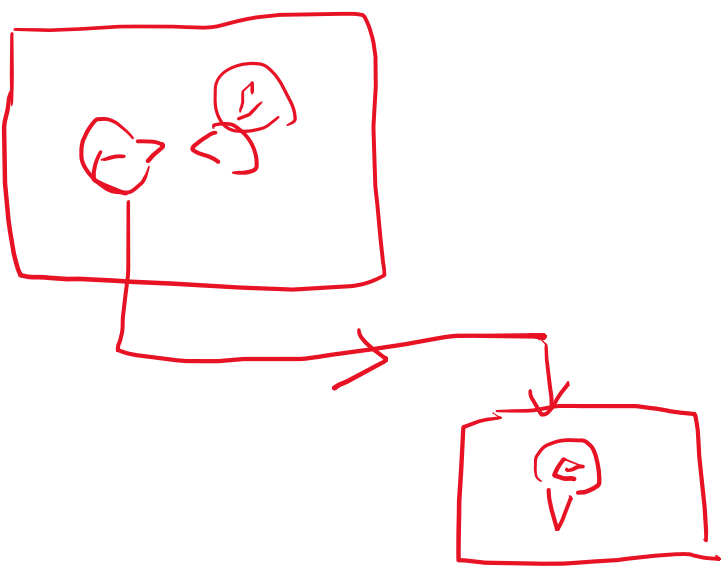
ヒヨ、ここ開けて。仲直りしよう。

大丈夫。僕もう怒ってないから」

信矢「それとも……また僕を怒らせたい？

このドアぶち破って、風呂場に引きずってって、

気絶するまで水に沈めてほしいと思ってる？」



1 SE: 怯える衣擦れ

2 【5】

3 信矢「違うよね。」

4 ヒヨちゃんは、僕にそんなことさせないよね。  
5 ほら、ドアを開けて。  
6 お兄ちゃんごめんなさいって、できるよね？」

7 【ヒロイン、しぶしぶドアを開ける】

8 SE: ドアノブ

9 SE: ドア開く

10 【1】

11 信矢「よくできました。じゃあ、仲直りのキスだ。  
12 ヒヨちゃんからして。僕の唇に」

13 【ヒロイン、触れるだけのキス】

14 信矢「あのさ、バカにしてる？」

15 SE: 怯える衣擦れ

16 信矢「何、今のキス。」

17 イヤイヤ少し触るだけ、みたいなさあ。  
18 仲直りする気ないのかな？

19 お前と仲良くしたいのは僕だけなのかな？  
20 ああ、もういい。わかったよ。

21 じゃ、優しいお兄ちゃんタイムはおしまいです」

22 【信矢、ヒロインの胸倉をつかんでひきよせる】

23 SE: 衣擦れ

24 【3 耳元】

25 信矢「お望み通り、気絶するまで首絞めながら犯してあげる」





## トラック2 息苦しい関係

前トラックの続き。

場所：空き部屋

床材：カーペット

【信矢、ヒロインの首を片手でつかんで床に押さえつける】

SE:ヒロインが床に押さえつけられる音

SE:衣擦れ

【信矢、ヒロインにのしかかりながら】

【1】

信矢「怯えた目、可愛いね。

次が僕に何を言うのか、何をするのか、  
気になって仕方がないって顔だ」

信矢「ヒロちゃんの首、細いなあ。片手で掴んでへし折れそうだ。

でも、いきなり締めたらかわいそうだね。

お兄ちゃんの言うこと聞いている間は、ひどいことしないであげる。  
じゃあ、まずスカートをまくり上げて、下着を脱ぎなさい」

【ヒロイン、躊躇する】

信矢「ああ、嫌？ じゃあ首絞めるね」

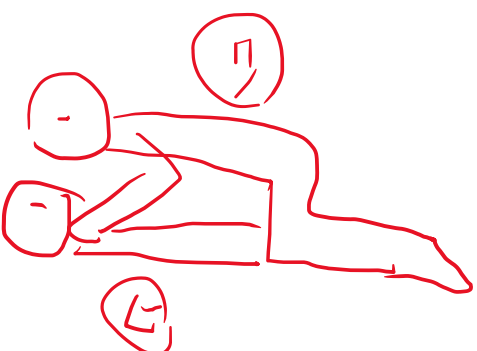
SE:ジタバタ

SE:絞める音

信矢「暴れても無駄だよ。あと十秒絞めるね。

いーち、にー、さーん、しーい、ごーお、ろーく、  
なーな、はーち、きゅーう、じゅー」

SE:ストップ



【1】

信矢「何寝てんだよ。休んでないで服脱げって」

SE:あわただしい衣擦れ

信矢「ほーら、どうせやることになるんだから、  
最初から言うこと聞いてれば辛くないのに。  
あれ？ シャツとブラも脱いじゃうんだ。  
積極的だね。お兄ちゃん嬉しいなあ」

信矢「このまま首絞めて、濡れてないところに  
ねじ込んでやろうかと思ってたけど……。  
気が変わった。  
いっぱい愛撫して、たくさん濡らしてあげるね」

【信矢、ヒロインの下半身に触れる】

SE:触れる水音

信矢「あれ？ あれあれあれえ？」

【7 耳元】

信矢「濡れてるね。どうしてかな。  
お兄ちゃんに首絞められて、怖いことされて、  
怯えた顔しながら期待してたの？」

SE:否定の衣擦れ

信矢「違うの？ へえ……でもほら、指。  
簡単に二本入っちゃった」

SE:挿入

SE:水音むちぬち

信矢「奥からどんどん溢れてくる。  
ヒヨちゃんは、すっかりDMの変態になっちゃったんだね」

1 【7 耳元】

2 信矢「優しくされるより、乱暴なのがいいんだね。

3 ベッドで優しくキスされるより、

4 こんな風に床に押さえつけられて、

5 首絞められながら犯されるのがいいんだ」

6  
7  
8 SE：否定の衣擦れ

9 信矢「【鼻で笑って】じゃあ、違うつて証明してもらおうかな。

10 痛いのも苦しいのも嫌なら、

11 首絞めながら犯されてイッたりしないもんね」

12  
13 SE：指抜く水音

14 SE：ベルト外す

15 SE：ファスナー下す

16  
17 【1】

18 信矢「力抜いて。よっと【挿入】」

19  
20 SE：挿入音

21  
22 信矢「緊張してるのかな。いつもより狭い。

23 心臓も、全力疾走したあとみたいに激しいな。

24 お兄ちゃんが怖い？」

25  
26 SE：肯定の衣擦れ

27  
28 信矢「そうだね、怖いね。

29 じゃあ、首絞めるね。ほら、ぎゅーって」

30  
31 SE：絞める音

32  
33 信矢「わかる？ さっきと少し違うの。

34 さっきは氣道を絞めたけど、これは頸動脈。

35 酸素じゃなくて、脳に行く血流を止めてるんだ」

1 【1】

2 信矢「苦しい？ 苦しいねえ。息はできるのに苦しくて、  
3 頭ぐらぐらして、死んじやいそうだねえ。  
4 はい、一回休憩」  
5

6 【ヒロイン「たすけて」】

7  
8 信矢「んー？ 助けるって、どういうこと？  
9 具体的にどうしてほしいの？」  
10

11 【ヒロイン「優しいセックスがいい」】

12  
13 信矢「優しいセックスかあ……いいね。僕もそれがいい」  
14

15 【3 耳元】

16 信矢「でも、今日はダメだ。  
17 優しいセックスは次の機会に、  
18 ヒヨちゃんから誘ってくれた時にしようか。  
19 だからほら、覚悟決めて。次、絞めながらガン付きするから」  
20

21 【1】

22 信矢「そーら、がんばれ♡頑張れ♡」  
23

24 S E :: 首絞め

25 S E :: 水音

26 S E :: 肉を打つ音

27  
28 【吐息のみ10秒程度】  
29

30 信矢「あ、ははは！すごい締め付け……！  
31 苦しいの？ イってるの？ 両方かなあ。  
32 強く締めて……緩めて……また絞めて。  
33 首絞められながらイクの、つらいね。苦しいねえ。  
34 顔真っ赤でかわいいな。もっと強く締めてあげる」  
35

36 【吐息のみ30秒程度ください】

1  
2 【ヒロイン「本当に死んじゃう」】  
3

4 【1】

5 信矢「死なないよ、大丈夫。苦しいだけ。  
6 ずっとずっと苦しいだけ。

7 あー、やばい。イキそ……」  
8

9 信矢「あは、ヒヨの顔。よだれと鼻水でぐちゃぐちゃだ。  
10 泡までふいて、かわいそう。

11 首絞め、そんなにイイ？ 気に入った？  
12 じゃ、絞めながら中に出してあげるから」  
13

14 【吐息入れつつ、適宜以下のセリフお願いします】  
15

16 信矢「首、絞めると中也締まるね。きもちいいよ、ヒヨ。気持ちいい」

17 信矢「やめてほしい？ 首絞め嫌だ？ 嫌だね、辛いね。はい、ぎゅー」

18 信矢「ああ、キッツ……中、痙攣やばいつて。壊れたみたいだ」

19 信矢「出すよ、中に。ほら、氣い失ってる場合じゃないだろって！」  
20

21 【十秒程度吐息入れて射精】  
22

23 信矢「【呼吸整えつつ、失神してるヒロインを見て】んー？  
24 完全に気絶した？ ヒヨ、おーい」  
25

26 S E：ほほ軽くたたく  
27

28 信矢「あーあ、白目が充血でまっかつか。

29 やりすぎちゃったかな……でも、お前が悪いんだよ？

30 せつかくの記念日なのに、

31 信頼できる人と話をさせろなんて言い出してさ」  
32

33 信矢「お兄ちゃん言ったよね。誰もお前の話なんて信じないし、  
34 お前が必死になればなるほど、

35 壊れた妹を献身的に支えるお兄ちゃんって目で  
36 見られるって」

【1】

信矢「かわいそうだな、ヒヨ。こんな目にあわされて。  
かわいそう……可愛そう」

【テープキス、三十秒程度】

信矢「一ヶ月記念日おめでとう。愛してるよ、ヒヨちゃん」

### トラック3 おねだり

もうすぐ誕生日なので、信矢に外出のおねだりをしにくるヒロイン。ヒロインの決死のおねだりに、信矢はヒロインに外出を約束する。

【信矢がリビングでアルバムの整理をしているところに、ヒロインがやってくる】

場所：リビング

時刻：日中

SE:ヒロインの足音

SE:紙をめくる音フエードイン

SE:足音ストップ

【6】

信矢「戸口のヒロインに気づいて」ヒョー」

SE:紙の音ストップ

信矢「珍しいね、こんな時間に部屋から出てくるなんて。

今ちようど、昔の写真を見てたんだ。

意外とアルバムに閉じてない写真も結構あってさ」

SE:写真を集めて束ね、とんとんと整理

信矢「ほらこれ、覚えてる？ 小学三年生の時の運動会。

スタートの空砲にびっくりして、泣き出しちゃったときのやつ。

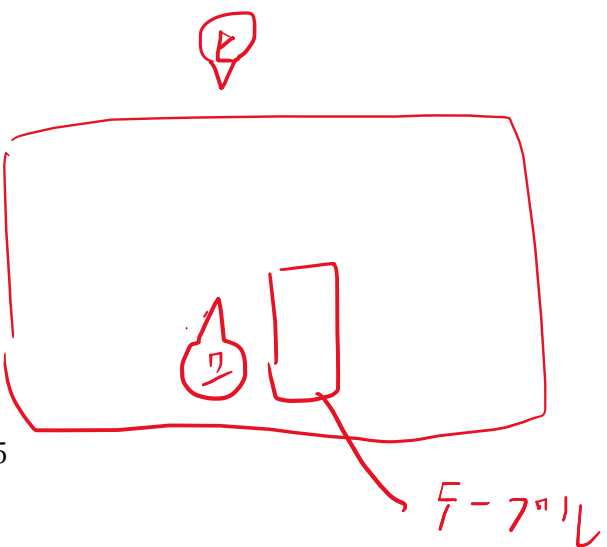
あんまり可愛いからアルバムに綴じようとしたら、

“お兄ちゃん嫌い” ってすねちゃって」

【ヒロイン、信矢に歩み寄り、隣に座る】

SE:ヒロインの足音

SE:ソファの軋み



【7 隣に座る距離】

信矢「【少し驚いて】隣に座るなんて……【ややわくわくして】さては、何か企んでるな？  
いいよ、油断してあげるから、好きなことやってごらん」

【ヒロイン「私の誕生日、覚えてる？」】

信矢「誕生日？ もちろん覚えてるけど……」

【ヒロイン「外で買い物がしたい」】

信矢「【得心し】ははあ……なるほどね。

外出のおねだりってこと。

うーんどうしようかなあ。

一か月前に二人でお出かけした時、お前が何したか覚えてる？

逃げ出して、店員さんに助けてーって泣きついて、

結局誰にも信じてもらえなかった」

信矢「今回も、逃げたってどうせ同じようなことになるよ。

それでもいいの？」

【ヒロイン「外に出られるならなんでもいい」】

信矢「そっか。じゃあ、本気でおねだりしてごらん」

【7 耳元】

信矢「そんな風にそっぽ向いてないでさ。

わかるよね？ どうすれば僕の機嫌がよくなるか」

【ヒロイン、無言で泣き出す】

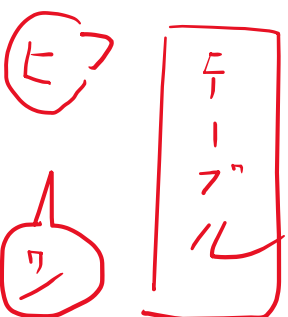
信矢「まーたそんな風に泣き出して。

本当に、上手に泣くよねえお前って。

私ってかわいそうですって顔してさ。

もっと泣かせたくなる。

だから、ヒヨちゃんの正解だ」





1 【7 耳元】

2 信矢「そのままじつと座つてればいいよ。

3 僕が好きなようにするから。

4 けど、絶対に抵抗しないって約束だ。

5 ヒヨちゃんは今から僕のお人形。いい？」

6 SE: 頷く衣擦れ

7 信矢「素直だなあ。最初からそのつもりだったんだね。

8 だから、ノーブラにシャツ一枚なんだ。

9 お兄ちゃんが触りやすいように。

10 ヒヨちゃん好きだもんね、耳舐めながら乳首いじめられるの。  
11 胸でイクまでいじめてあげる」



12 【耳舐めしつつ以下のセリフ適宜挟んでください】

13 信矢「可愛い声、出ちゃってるね。

14 シャツの上から乳首すりすりされるの、気持ちいい？」

15 信矢「こんなに乳首勃起させて、やらしいね。

16 お兄ちゃんがつまみやすいようにしてくれてるの？

17 こうやって」

18 【耳舐めこつまで】

19 SE: 身じろぎの衣擦れ

20 信矢「こーら、身じろぎしない。

21 ほら、背筋の場して胸突き出して。

22 爪でカリカリしてあげる。

23 かりかり、すりすり…つまんで、こねて。

24 ほら、もうイきそうだ。イっていいよ。

25 イけ、イけ、イけ、イけ」

26 SE: 絶頂の衣擦れ

1 【7】

2 信矢「ほーら、胸だけでいった。

3 感度クソザコの淫乱乳首だねえ」

4  
5 SE:もがく衣擦れ

6  
7 【ヒロイン「やめて」】

8  
9 信矢「んー？ まだやめないよ。

10 何もがいてるんだよ、じっとしてろって。

11 ほら、乳首で連続イキできるかな？

12 イったばっかの乳首シコシコされるの、

13 泣くほど気持ちよくてすぐイっちゃうねえ」

14  
15 SE:絶頂の衣擦れ

16  
17 信矢「あは、またいった。胸にクリトリスでもつけてるわけ？

18 ほーら、暴れない、暴れない」

19  
20 SE:ｼﾞﾀﾊﾞﾀ

21  
22 信矢「暴れるなって……あー、もう」

23  
24 【信矢、ヒロインをソファに押さえつける】

25  
26 SE:ﾄﾞﾂ

27 SE:ｷﾝ

28  
29 【1】

30 信矢「暴れるなって言ったよね？ 抵抗しないって約束は？

31 ヒヨちゃんがやめたいならいいよ？

32 お出かけデートもなしだけど」

33  
34 【ヒロイン「胸ばっかり触らないで」】

【1】

信矢「ふーん。もうおっぱいいじめられたくないんだ。

じゃあ、僕はもうどうしたらいい？ どこなら触っていいの？」

【ヒロイン、足を開く】

SE:衣擦れ

SE:ベッドの軋み

信矢「どうしたの？ 足なんか開いて。

弓狩家の長女として、ちょっとはしたないんじゃないかなあ」

【ヒロイン、困惑して信矢を見る】

信矢「黙ってたらかわないよ。ヒヨ。

ちゃんと口で言わなくちゃ。

「もうおっぱいいじめられたくないから、

ヒヨちゃんの雑魚まんこいじめてください」って」

【ヒロイン、ドン引きの表情】

信矢「あっははは！ その顔……！！

お前って本当に表情豊かだな。

あー、かわいいかわいい。

可愛いからいいよ、言わなくて」

【1】

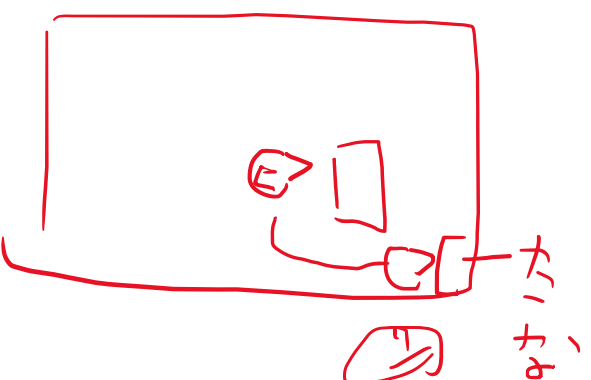
信矢「あ、ちょっと待てよ。

そういえば昨日、面白いオモチャが届いたんだった」

SE:離れる足音

SE:引き出しを開ける

【信矢、ソファから降りて引き出しから尿道バイブを取り出す】



【9】

信矢「じゃーん！ これ、なーんだ」

SE: 近づく足音

【1】

信矢「ほら見て。

細長くて、やわらかくて、つぶつぶしてる。

これねえ、尿道用のバイブなんだ」

SE: 怯える衣擦れ

信矢「あれ？ 脚閉じちゃうの？

やめとく？ お外デート。

そうだよね、尿道開発なんてされたくないもんね。

じゃ、これは捨てちゃおうか。

で、ヒヨちゃんは二度とこの家から出られないと。

それでいいんだね？」

【ヒロイン、泣き出す】

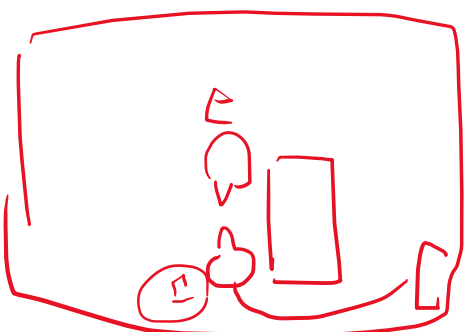
信矢「また泣いてる。

泣いたって仕方ないだろ。

お前が決めることだよ」

【c 耳元】

信矢「尿道バイブでお兄ちゃんのご機嫌取るか、  
イヤイヤ言ってお兄ちゃんを怒らせるか。  
好きな方を選べばいい」



## トラック4A 手段を扱はず

ヒロインが尿道開発を選択。おもちゃで徹底的にイかせ狂う。

【ヒロイン、ソファに座って信矢の前で大きく足を開いている】

【1】

信矢「へえ〜？ 尿道開発してほしいんだ。

いいの？ そんなことしたら、

いよいよマゾ豚になっちゃうよ？」

SE：肯定の衣擦れ

信矢「そっかそっか。じゃあ、お兄ちゃんとお散歩するために、

尿道でイキ狂っちゃう立派なマゾ豚になろうね。

それじゃあ、まずは拘束しようか」

【信矢、拘束具を見せつけ】

SE：鎖じやり

SE：驚く衣擦れ

信矢「だって、お前がうっかり暴れたら危ないだろ？

ヒヨはできるって言いながらすぐにねを上げるから、

うっかりばれて傷なんてついたら大変だ。

だから暴れられないように拘束する。いいね？」

SE：肯定の衣擦れ

信矢「そんなに怖がらなくても、

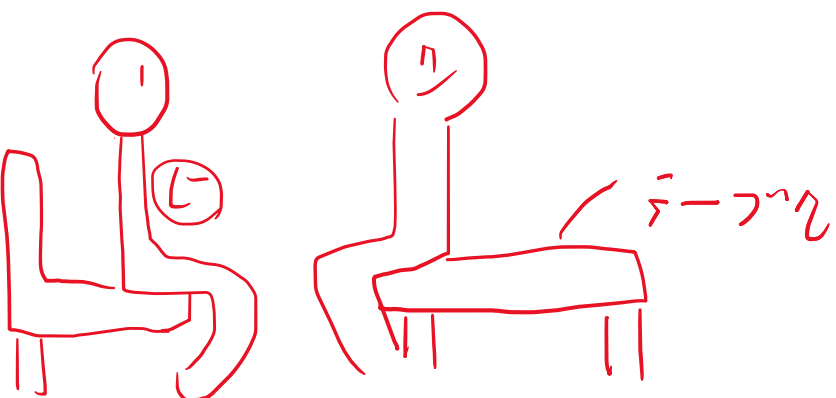
マジックテープで手足を固定するだけの簡単なやつだよ。

ほら、M字開脚して両手を前に」

SE：マジックテープバリバリ

信矢「両手両足を拘束して、ベルトを首の後ろに通すと……。

はい、開脚拘束の出来上がり」



1 【1】

2 信矢「んー、無様。無様で可愛い。キスしたいな」

3  
4 【ディープキス十秒程度】

5  
6 信矢「じゃあ、始めるね。」

7 尿道丸見えで入れやすそうだ。  
8 潤滑剤たーっぷり塗って」  
9

10 SE：潤滑剤の水音

11  
12 信矢「先っぽから、少しずつ……」  
13

14 SE：水音  
15

16 【ヒロイン、違和感にびくっとなる】  
17

18 SE：衣擦れ  
19

20 信矢「わかる？ つぶつぶの一番先が、今入ったところ。  
21 意外と簡単に入ってびっくりするよね。  
22 もっと奥まで入れてあげるからね」  
23

24 SE：水音（つぶつぶ入っていく感じ）  
25

26 SE：鎖の音

27 信矢「ほら、もう一番奥まで入った。  
28 簡単だったでしょ？ じゃあ、スイッチ入れるね」  
29

30 SE：ガチ

31 SE：振動音

32 SE：鎖ガチャガチャ  
33

34 信矢「ほーら、やっぱり暴れてる。」

35 どう？ 気持ちいい？ きもちいいえ」  
36

1 【3 耳元】

2 信矢「このままバイブで、尿道の中ごりごりしたらどうなると思う？  
3 試してみようか。ほら、ゆっくり引き抜いて……」

4  
5 SE:水音

6 SE:暴れる鎖

7  
8 信矢「またゆっくり奥まで入れる。  
9 いれて、出して、いれて、出して……」

10  
11 【ヒロイン「やめて！」と叫ぶ】

12  
13 【1】

14 信矢「やめてって言われてもなあ。  
15 お前がやるって決めたことだろ？  
16 っていうかもしかして、つぶつぶが尿道を通るたびにイってる？  
17 すーごい声だな。  
18 尿道ごりごり出し入れしながら、クリもいじめてあげようね」

19  
20 SE:暴れる鎖

21  
22 信矢「充血してクリ真っ赤。  
23 うんうん、クリやだねえ。  
24 イきっぱなしでかわいそう。  
25 もっとかわいそうにしてあげる」

26  
27 【ヒロイン「もうお出かけしなくていいからやめて」】

28  
29 信矢「え？ お出かけしなくていいの？  
30 じゃあ、純粹に尿道いじめてほしかっただけってこと？  
31 そっかそっか。じゃあもつといじめてあげようね」

32  
33 信矢「どう？ クリトリスしごかれながら、  
34 尿道ぶるぶるされるの、気持ちいい？  
35 気持ちよすぎて気絶もできないねえ」  
36

1 【ヒロイン「壊れる壊れる壊れる」】

2

3 【1】

4 信矢「壊れる？ 本当？」

5 僕さ、ちょっと興味があるんだよね。

6 よく「壊れちゃう」っていうけど、

7 快樂でおかしくなることって本当にあるのかな。

8 聞いたことないよねえ。ヒヨちゃんはどう？

9 なんて、聞こえてないか」

10

11 信矢「じゃあ、尿道バイブの電池が切れるまで、

12 このままにしておくね。

13 僕はバラバラの写真をアルバムに綴じる作業やつてるから」

14

15 【ヒロイン、半狂乱で罵詈雑言】

16

17 【1】

18 信矢「うわー、びっくり。

19 ヒヨちゃんの口から、そんなに汚い言葉が出てくるなんて。

20 お兄ちゃんショックだよ。だからバイブの強さ上げるね」

21

22 S E : 振動音強く

23 S E : 暴れる鎖

24

25 信矢「しー、静かに」

26

27 【3 耳元】

28 信矢「【脅して】あんまりうるさくすると、

29 全部の穴にバイブ突っ込んだ上にギヤグボール噛ませるよ？」

30

31 信矢「【一転して明るく】ほら、静かにできるじゃないか。

32 余裕あるのに、大げさに騒いで悪い子だなあ。

33 じゃあ、電池が切れるまで頑張ってね」

34

35 S E : バイブの音フェードアウト



## トラック4B 約束通りに優しい日

ヒロインが「普通にセックスしたい」と信矢を誘い、「ヒロインから誘った  
ら優しくする」の約束通り溺愛セックス

【ヒロイン、「お兄ちゃんに抱かれない」と言う】

【1】

信矢「そっか……オモチャで遊ぶんじゃないくて、  
お兄ちゃんと本気セックスしたいんだね」

信矢【溜息まじりに】まったく、あざといなあ。

けど確かに、ヒヨちゃんから誘ったら、  
優しいセックスするって約束しちゃったもんね。

いいよ。意地悪なしのセックスしよ」

【信矢、体をかがめてヒロインにキス】

SE:衣擦れ

SE:ソファの軋み

【ディープキス十秒程度お願いします】

信矢「キス、積極的にできるようになったね。

ベッド行く？ このままソファでする？」

【ヒロイン「はいでこい」】

信矢「そう。じゃあ、お兄ちゃんがソファに座るから、

ヒヨちゃんが僕の上ね【移動の息ください】」

SE:ソファに座る

SE:ソファの軋み

信矢「ね、わかる？ 実はさっきからずっと勃起してるの。

これ、ヒヨちゃんが自分で中に入れてくれる？

ベルト外しし」

基本対面でべた足です

1 SE:ベルトかちやかちや

2  
3 【1】

4 信矢「フアスナー外して、そう、上手だ」

5  
6 SE:フアスナー下す

7  
8 信矢「いきなり入れようとしなくていいから。

9 力抜いて、足開いて、ゆっくり僕の上に座ってごらん。

10 ほら、入り口にこうやって添えて。

11 僕の首に腕回して」

12  
13 SE:水音

14  
15 【7】

16 信矢「ゆっくり、ゆっくり腰を落として」

17  
18 SE:挿入音

19  
20 信矢「んー？ どうして止まってるの？

21 まだ半分しか入ってない」

22  
23 【ヒロイン「これ以上入らない」】

24  
25 信矢「大丈夫、ちゃんと全部入るよ。いつも入ってるんだから。

26 力の抜き方わかんない？

27 お兄ちゃんが手伝ってあげる。耳舐めてあげるから」

28  
29 【耳舐め一分ほどください】

30  
31 信矢「ほら、もう奥まで届きそう。

32 僕がちよっと下から突くだけで」

33  
34 SE:挿入音

35 SE:肉を打つ音1回

36

【7】

信矢「ね？ 入った。」

自分で動いてイイとこにあててらん」

SE：水音ゆつくり

SE：肉を打つ音 ゆつくり

信矢「んー？ そこ？ そこが気持ちいの？

違うだろ。ヒヨが気持ちいところは、  
こーこ」

SE：衣擦れ

信矢「ほら、軽く突かただけでイってる。

ヒヨが自分で当てられないなら、

僕がいっぱいあててあげようね。

ほら、ほーら」

SE：水音 早め

SE：肉を打つ音 早め

信矢「気持ちいいね、気持ちいい。

僕もすごくいいよ。突くたびに締まって、

腰止まらない」

【がん付きの吐息1分ほどお願いします】

信矢「気持ちいいところ、ちゃんと覚えた？

あと、ヒヨが好きなのはこれ。

座位で下から突かれながら、お尻の穴も指で犯されること」

SE：挿入音

信矢「あはは、締まる締まる。

わかる？ 指が二本も、奥までぐっぽり入ってる。

同時に犯せるオモチャ持ってくればよかったね。ごめんね」

1 【1】

2 信矢「キス、しよう。キスしながら中に出したい。  
3 愛してるよヒヨ。愛してる、愛してる」

4 【キスハメ1分程度 のちフィニッシュ】

5 【射精後、呼吸整えつつ三十秒ほどディープキス】

6 【1】

7 信矢「んー……気持ちよかったねえ。

8 よーしよし、いい子いい子。頑張って偉かったね。  
9 いくつか自分からガンガン腰触れるようになるうね」

10 信矢「今日のところは、お兄ちゃんが全部やってあげる。  
11 —それじゃ、続きはベッドでしょっか」

12 SE：驚愕の衣擦れ

13 信矢「何驚いてるの？」

14 僕が一回出ただけで満足したことなんてないよね。  
15 せっかくヒヨが誘ってくれたんだから、  
16 お兄ちゃん朝まで頑張って、ヒヨちゃんのことイカせるからね」

17 【c】

18 信矢「朝まで頑張れたら……お出かけデートの計画、  
19 二人で一緒にたてようね」

## トラック5 楽しい誕生日デート

「外に出たい」というヒロちゃんのお願いをかなえるデートトラック。  
思ってたより普通に外出デートをしてくれて驚くヒロちゃんを甘やかす。

場所：屋外のショッピングモール

時刻：日中

SE：町のざわめき（フェードインアウントで早めに忘れる）

【7 隣に立つ距離】

信矢「【正面を見て】うーん……困ったなあ。どの服も似合いすぎてる。  
一年間、毎日新しい服を着せても足りないくらいだ」

【ヒロイン「さすがに買いすぎだと思う」】

【7 ヒロインを見て】

信矢「買いすぎ？ まさか！ こんなんじや全然足りないよ。

いつも「これ、ヒロに似合うかなー？」って

想像してあれこれ買ってるけど、

ちよつとマンネリかなーと思ってたんだ。

こうしていろんな店を回って、

実際に試着してもらおうと新しい発見がある。

もうアパレル業者買収してヒロのブランド作っちゃおうかな」

【ヒロイン「少し疲れた」】

信矢「【慌てて】ああごめん。疲れちゃった？

確かに、ちよつと夢中になりすぎたな。

ちよつと休憩にしようか。

ええと……」

信矢「そのベンチで待ってたら、

お兄ちゃんがクレープ買ってきてあげる」

SE：驚愕の衣擦れ



【1】

信矢「そんなに驚くこと？」

【ヒロイン「私が逃げるかもって思わない？」】

信矢「バカだな……逃げたいなら逃げてもいいよ。

追いかけて捕まえるだけだから。

試してみる？ ショッピングモールかくれんぼ。

じゃあこうしようか。

お兄ちゃんがクレープを買ってる間に、

ヒヨちゃんはどこにでも、自由に逃げ出してオーケーです。

ここなら絶対に見つかからないって場所に隠れてみましょう。

ただし、警察はお勧めしません。

なぜなら僕が電話を一本かければ、

保護者であるお兄ちゃんのとこに連れ戻されるからです」

信矢「どう？　じゃあ、クレープ買ってくるね」

SE：立ち去る足音

時間経過

場所：公園

時刻：夜

SE：遠くで行きかう車の音

SE：鈴虫でも鳴かせといってください

【ベンチで一人座ってるヒロインのもとに、信矢が近づいてくる】

SE：足音

【11】

信矢「はい、みーつけた」



1 SE…足音ストップ

2 SE…ベンチに座る

3 【3 ヒロインを見て】

4 信矢「その恰好じゃ寒いよね。ほら、上着」

5 SE…衣擦れ

6 【ヒロイン「どうしてわかったの？」】

7 信矢「どうしてって……あのショッピングモールって、

8 近所に何もないだろ？」

9 ヒヨちゃんは財布もスマホも持っていないし、

10 靴は今日モールで買ったばかりの、

11 履きなれない厚底のハイヒールだ。

12 僕から逃げようとしたヒヨちゃんは、

13 まずモールを出て都会に向かって歩き出すけど、

14 途中で靴擦れでまともに歩けなくなると思ったんだ。

15 そうすると、逃げ込むのはモールから徒歩三時間で

16 たどり着くこの公園かな、って」

17 【3】

18 信矢「ヒヨちゃんは性格上、ヒッチハイクとかできないしね。

19 今、自分がどれだけ目立つハイブラコーデしてるかわかってる？」

20 仮にその服でバスやタクシーに乗ったとしても、

21 見つけるのは難しいことじゃない」

22 【ヒロイン、消沈】

23 信矢「そんなに落ち込まないでよ。

24 この公園まで歩いてきたってだけで、

25 僕としてはかなり頑張ったと思ってる。

26 せいぜい、ショッピングモールの誰かに助けを求めて、

27 ひと悶着起こす程度だと思ってたからね」



【3】

信矢「ちなみにだけど……」

クレープは、お兄ちゃんが二人分食べちゃいました」

【ヒロイン、軽く嘔き出す】

信矢「ふふ。久しぶりに笑ってくれたね。

少しは息抜きになったかな」

SE：肯定の衣擦れ

信矢「よかった。——じゃあ、罰ゲームを始めようか」

SE：驚愕の衣擦れ

【1】

信矢「何、その間抜け面。

まさかこのまま家に帰れると思ってたの？

僕から逃げ出しておいて？

ヒヨは何にもわかってないなあ」

【立ち上がり、逃げだすヒロイン】

SE：立ち上がる

SE：走り出す

SE：転ぶ

【1c】

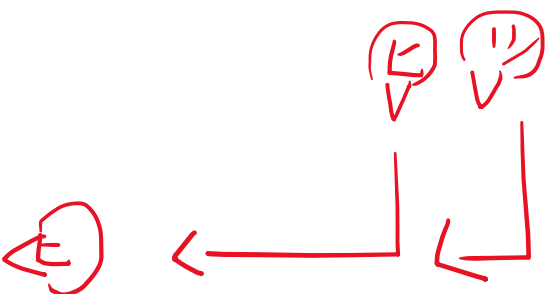
信矢「【立ち上がりながら】そんな足で、

まともに走れるわけないだろ？」

【ヒロイン、なんとか立ち上がろうとする】

SE：立ち上がろうとする（衣擦れと砂利の音混ぜる）

SE：近づいてくる足音





1 【13↓5】

2 信矢「罰ゲームの内容も聞いてないのに逃げ出すなんて、

3 お兄ちゃん傷つくなあ。

4 軽めの罰ゲームにしようと思ったけど、ひどくしちやおうかな」

5  
6 【ヒロインの腕を掴んで引き起こす】

7  
8 SE…衣擦れ

9  
10 【3】

11 信矢「おいで。林の中で全裸に剥いて、

12 泣くまで犯してあげる」

## トラック6 罰ゲームは空の下

全裸で信矢に犯されているところを、カップルに目撃される恥辱野外セックス

【信矢、ヒロインの服を破く】

SE：服破く

【1】

信矢「はい。これでヒヨちゃんの服は全部だめになっちゃいました。  
公園で胸もお尻も丸出しで、恥ずかしいねえ。  
その木に抱き着いてれば、少しは体隠せるかもよ？」



SE：足音数歩

【5】

信矢「そうそう、いい子だ。お尻こっちに突き出して。  
厚底のハイヒールだから、身長差が縮まってやりやすいね。  
ほら、ヒヨのお尻の位置、僕の股間にぴったりだ」

SE：ベルト外す

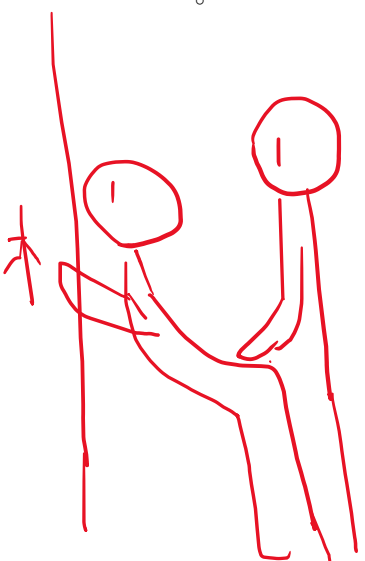
SE：ファスナー下す

信矢「足、ぎゅって閉じてて。濡れるまで素股してあげる。  
乳首も、一緒にいじめてあげようね」

SE：水音

SE：肉を打ち音

信矢「濡れるのはっや。露出プレイの才能もあるんだなあ。  
乳首いじられながら、お兄ちゃんのちんこで  
クリ（ご）しされるのそんなに好き？  
腰動いて、声出ちゃうくらい気持ちいい？」



【5】

信矢「でもいいの？ そんなにアンアン声出しちゃって。

ここ、公園だよ？

それに、結構有名なデートスポットなんだよね」

【ヒロイン「嘘」】

信矢「嘘だと思う？ そうだといいねえ。

ああ……けど、だめだな」

【4 耳元】

信矢「人が近づいてくるみたい」

【信矢、人が来ても気にせず続ける吐息ください】

SE:草を踏む音数歩歩いて止まる

【盛り上がった男女カップル、アオカンスポットを探して信矢たちに出会  
つてしまう】

【11 遠くから】

男「え、ちょっと待ってごめん。先客いるわ」

【11 遠くから】

女「えほんと？ うわやばいちよつちよ、引き返そう」

男「あれこつち気づいて無くない？

えっぐい。女の方全裸じゃん」

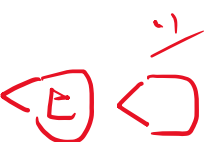
女「えーやだ。やだやだ変態だつてやばいって」

信矢【「声ひそめて」聞こえる？ 変態だつて。

もっと見せつけてあげようか。

足、こうやって持ち上げて。奥まで入れるのを見せてやろう」

【信矢、ヒロインの片足持ち上げて奥まで一気に突っ込む】



SE:衣擦れ

SE:挿入

SE:出し入れの水音激しめに

SE:肉を打つ音

【ヒロイン、大きい声が出て焦る】

【11 遠くから】

男「うわ、すげえ声。AVじゃん。ってか彼氏の鍛え方エグ。  
カメラあるんじゃないかねえのあれ」

【11 遠くから】

女「もうやめなつて。行こう。気持ち悪いから」

SE:立ち去る足音×2

【4 耳元】

信矢「【押し殺して】ふ、ふ……っはははは……!」

あーあ、行っちゃった。

せっかく見てもらえてたのに、残念だったね。

イクとこまで見ててほしかったんじゃない?」

SE:否定の衣擦れ(服破いてますけど髪がすれてると思えば)

信矢「やだ? 見られたくない?

早く終わらせてほしいなら、

木じゃなくてお兄ちゃんに抱き着いて。

スキスキ大好き言いながら、腰振ってっらん」

【ヒロイン、信矢に抱き着く】

SE:体位かえる衣擦れ。



1 【7 耳元】

2 信矢「上手にできたね。」

3 お兄ちゃんの腰に足回して。キスしよ。ね？」

4 【キスハメ1分程度 吐息ください】

5 【1】

6 信矢「上手だよ、ヒヨ。すごく上手。」

7 セックスが上手で偉いね。

8 お兄ちゃんに媚びうって腰振って、

9 イクイクできて偉い、偉い。

10 もっと本格的に犯したくなってきちゃった。

11 一回出したら、すぐ家に帰ろうね。

12 それで、朝までくっついてよ。ね？ ヒヨもそうしたいよね？」

13 【終わりに向かう吐息1分程度 終わり際に十秒程度キスハメで終わらせ  
14 てください】

15 信矢「【呼吸整え】これで、罰ゲームおしまい。」

16 服、新しいの用意してあるから、それ着て車に行こう。

17 楽しい一日だったね。お誕生日おめでとう」